ガバメントAI「源内(GENNAI)」：国産LLM「7人の侍」が切り拓く行政DXの未来

2026年3月6日発表、18万人の全府省庁職員を対象とした大規模実証実験で日本の技術的自律性と行政効率化を目指す

戦略的意義と「源内」の役割

国内外の課題解決と「データ主権」の確保

海外製LLMへの依存を設却し、国内クラウドでの安全な機密情報処理を実現。

政府共用AI基盤「源内 (GENNAI)」

国会答弁作成支援など20種類以上の内製アプリを全府省庁へ展開。

日本語・行政実務への高度な適合

法令用語や日本独自の文化に最適化されたモデルにより、厳密な業務に対応。

選定された主要な開発企業とモデル名（全7件から抜粋）

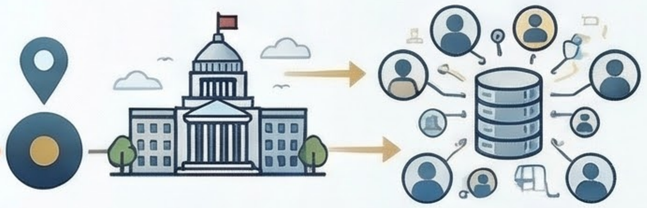
開発主体	モデル名
NTTデータ / カスタマークラウド	tsuzumi 2 CC Gov-LLM
KODI・ELYZA / ソフトバンク	Llama-3.1-ELYZA-JP-708 Sarashina2 mini
NEC / 富士通 / Preferred Networks	cotomi v3 Takane 32B PLaMo 2.0 Prime

選定された「7人の侍」と導入ロードマップ

15件の応募から厳選された7つの国内モデル

透明性、性能、安全性、コンプライアンスの厳しい基準をクリリアした精説群。

2026年5月より18万人規模の実証実験を開始



2027年4月

評価結果に基づき、優れたモデルを有償調達する予定。